

~その人らしく生きるために~

HumanLife



社会医療法人 関愛会 在宅リハビリテーション通信

【夏号 vol.27】

2022年8月発行



また船に乗れたで！

最高やなあ！



<http://sekiaikai.jp/>



コロナ禍でもできる活動・参加！



訪問リハビリでもできる♪



インクルーシブな社会を目指す地域リハビリテーション！

地域リハビリテーションという言葉聞いたことがありますでしょうか？地域リハビリテーションの定義では、「地域リハビリテーションとは、障害のある子供や成人・高齢者とその家族が住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保険・医療・福祉・介護及び地域住民を含め、生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動のすべてのことを言う」とあります。

地域リハビリテーションの活動指針として、「地域リハビリテーションは、障がいのある全ての人々や高齢者にリハビリテーションが適切に提供され、**インクルーシブ社会を創生することを目標**」としています。

(2022年：日本リハビリテーション病院 施設協会HPより引用)

インクルーシブ社会とは、多様性を認める社会をいい、障がい児・者、高齢者、生活困窮者など地域に住む、様々な生活環境にある住民を取り残さずに、支え合う社会と言われ、それが「地域共生社会」ということに繋がってきます。

地域共生社会の実現には、「支え手側と受け手側に分かれるのではなく、**地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成すること**」が求められています。また、医療や介護・福祉や行政だけではなく、今後、働き手不足などの社会的な課題も含め、企業やNPO法人など、地域にある資源を活用する姿勢や企画力が重要になってくると感じています。

そのような考えのもと、今回、坂ノ市地域を主に、障害福祉サービスと連携をする中で取り組んできた“地域共生型農園”「坂ノ市オレンジファーム」から広がった取り組み（活動）や繋がりをご紹介致します。お互いに強みを活かした繋がりを持つことで、さらに地域に密着した「活動」や「参加」が、今後も行えればと思っています。そのためにも私たちが地域に出向き、住民の方々との繋がりを強化し、何でも相談できる関係づくりを行っていければと思います。



社会医療法人 関愛会
坂ノ市神崎エリアリハビリテーション部 / 大東よつば病院在宅リハビリテーション部
部長 川野剛士 (認定理学療法士 / 地域)

地域共生型農園『坂ノ市オレンジファーム』

- 社会医療法人 関愛会 坂ノ市病院 (坂ノ市リハビリテーションセンターもみの木)
- 一般社団法人 LBM 就労継続支援B型・生活訓練「オレンジリワークセンター」
- NPO法人 子育て応援レストラン「トンネルをぬけるとたまりば」



の3法人が合同で運営をしている“地域共生型農園”坂ノ市オレンジファーム

障がいのある方々の活躍の場の創出や農作物をつくることによる体力づくりを目指しています。また子どもに関しては、食育プログラムとしての役割を持ち、「たまりば農園」として活動しています。坂ノ市病院内にある通所リハビリテーション「坂ノ市リハビリテーションセンターもみの木」とも融合し、子どもから高齢者まで、また障害の有無に関係なく地域住民も含めた地域交流の場を目指しています。

それぞれの強みを活かして活動！

3法人共同で運営をしています！

一般社団法人LBM × NPO法人子育て応援レストラン × 社会医療法人 関愛会



坂ノ市オレンジファーム

障害の有無や年齢に関係なく、みんなで活動する地域共生型農園



- 精神疾患のある若年層の活躍の場 (就労の場づくり)
- 野菜づくりを通して子供たちの食育の場
- 高齢者や地域の方々の活躍の場

地域共生型農園

夏休みの課題で看板作り



坂ノ市もみの木の活動としての看板作り



自作の看板を設置

地域共生型農園で地域イベント

各事業所や地域の方々が参加しやすい土曜日にイベントを開催！

2021年11月



障害の有無や年齢の垣根を越え
地域共生ミニ農園

高齡者、親子ら触れあい

2021年11月3日(土) 大分市坂ノ市、大在



地域共生型農園で地域イベント

2022年6月

オレンジリワークセンター
坂ノ市リハビリテーションセンターもみの木
医療型特定短期入所さくらん



じゃがいも掘り
2022.6.7

一般社団法人LBM 社会医療法人関東会

坂ノ市オレンジファーム
NPO法人子育て応援レストラン



地域共生型農園からの地域貢献



子ども食堂やカフェへ野菜の寄付活動



昨年の11月と今年の6月にみんなで芋掘りを行いました。参加者は子どもから成人・高齢者まで、地域の方々も含め、障害の有無に関わらず、それぞれができることを補いながら収穫をすることができました。

また収穫した野菜は参加者で分けるだけでなく、繋がりのある子ども食堂などに寄付をし、食材として使ってもらっています。

このような活動を通して、地域の方々と繋がりを持つことができ、企業間連携やもみの木の活動・参加に繋がってきています。



加工業者へ納品

利用者や職員・関係機関も楽しみながらできる活動を！

地域との繋がりがから広がる活動と参加！

初めて地域で出店販売



坂ノ市公園



地域の子育て世帯を支える完全無償支援配布

おおいたコネクトサポーン Presents

2022 2022

ご入学おめでとう！
50世帯限定！サポート事業

この入学となる小・中1年生のお子様が「ひとり親世帯」「障がいのある子育て世帯」「生活困窮子育て世帯」が対象となります。

日時：2022年3月29日(火)11時～12時
場所：久保公園 ※菓子問屋(有)オーザイ首路前
〒870-0253 大分県大分市砂丘2丁目20-443

- ★NPO法人子育て応援レストランより、食料支援セット配布！
- ★TSUBOMI CAFEより、お弁当配布！
- ★有明会社オーザイ首路より、お菓子詰め合わせセット配布！

お問い合わせ先
Q1: 申し込み方法は？
A: QRコードより申し込みください。当日は受付時間をご確認ください。受付終了後は、フォームのご入力をお願いいたします。ご入力いただいた情報は、こちらからご連絡させていただきます。

お問い合わせ先
Q2: 申し込みは？
A: NPO法人子育て応援レストラン、NPO法人LBM、オレンジリワークセンター、有明会社オーザイ首路、社会医療法人関東会、弘済福祉サービスセンターまで。

地域の子育て世帯を支える活動支援



オレンジリワーク
地域貢献ヘルパー！
ありがとう！
マッチングサービス
Thank You For Your Smiles

就労支援型 オレンジリワークセンター
030-4747-6463



関愛会こうざき・坂ノ市・大東よつば 訪問リハビリテーション便り vol.27 夏号

発行日 : 2022年8月1日
編集・発行 : こうざき・坂ノ市・大東
訪問リハビリテーション事業所
広報担当 : 川上 岩坂
電話番号 : 097-576-1212
FAX 番号 : 097-576-1808

日本訪問リハビリテーション協会 学術大会in長崎に参加!

6/4、6/5に長崎で行われた日本訪問リハビリテーション学会の学術大会にオンラインにて参加しました。(ちゃんぽん食べたかった(;ω;)カ...)

“地域とつながる、地域へつなぐ”をテーマに、訪問リハビリから派生して栄養面、社会参加、福祉用具によるテクノエイド支援、終末期への支援などの講演が開催されました。今回、特に印象に残った「テクノエイド支援」と「終末期を支える訪問リハ」の講演の学びを皆さんに紹介したいと思います。

まず、訪問リハビリでは運動のみではなく、福祉用具の提案やそれが適切に使えるかの評価をします。その際に、本人だけでなく家族(同居している小さなお孫さん等)も我々の提案した福祉用具に関してどう思うかを考えなければなりません。福祉用具を自宅に置いている時、小さなお孫さん等から「ここにあると邪魔」などと言われると、本人が邪魔と言われた気持ちになります。本人の精神面にもっと寄りそうため、周りの意見も考える事が重要です。この講演によって、われわれの業界ではよく言われている「療法士はただメジャーを当てるだけじゃダメ」という言葉の意味を理解する事が出来ました。

また、我々は終末期(人生の最終段階)となった方への対応も少なくありません。そのような方への訪問ではどうしても心身機能が下がるものです。終末期の講演をされた演者の方は、右肩下がりのリハビリという話をされましたが、心身機能が下がる中で、本人や家族の希望をどれだけ叶えられるか、叶えるために、寄りそえられるかが訪問療法士に求められる事とも話されていました。

今回の学術大会を経て、個人間で違う心身機能や周囲を取り巻く環境に合わせてリハビリサービスを提供する重要性を、改めて考える事が出来ました。今後の訪問リハビリでも、一人一人に寄りそったサービス提供をさせていただきます!

(作業療法士 富永隼斗)



第20回 日本訪問リハビリテーション協会 学術大会 in 長崎

開催 | 2022年6月4日 5日 | WEB 開催 | 一般観覧券 2022年12月上旬参加費 2023年12月下旬

症例紹介 ~お花を育てています~



ご自宅での転倒をきっかけに腰痛が生じ、なかなか思うように動けなくなってしまった一人暮らしのA様。『転倒予防の為にからだづくり』と『ご家族様との外出を継続出来る事』を目標に訪問リハビリの介入が開始となりました。介入当初は、腰痛の状態をみつつ出来る運動をご自宅内でおこなっていました。ご本人様の「ぼちぼちでも動かん動けんくなる」という気持ちもあって歩行状態は改善していきました。腰痛も消失し、リハビリ以外の時間にも1日1回はお庭を散歩する様になったA様ですが、お庭を見るたびに「前は花をいっぱい植えててね。綺麗にしてたんよ。」とお話されていました。そこで、「うちに植えたひまわりの種、余りで良ければ植えませんか?」と提案してみました。「植えたい!」とすぐに返事をして下さり、次の訪問日に種をまきました。それから散歩の時には様子を見て下さり、訪問リハビリで一緒に草取りをし、週末に訪問される娘様は水やりや肥料をあげたりと協力して下さっています。たくさんの愛情を受けたひまわりは我が家のひまわり(花が咲く前に枯れそうです(;v:))よりもはるかに元気に大きく成長しています。(岩坂美椰子)



6月3日に種まき



7月6日に草取り

職員紹介

坂ノ市病院から6月に異動してきました、帆足将直(ほあしまさなお)と言います。所属は“大東よつば病院”で、午前は通所リハビリの大東リハビリテーションセンターもみの木で働き、午後から訪問リハビリテーションを行っています。通所リハ、訪問リハのどちらも経験させて頂き、在宅の楽しさを日々実感しながら仕事に励んでいます。長引くコロナ禍の中で外出や他者との交流機会が少なくなっているとは思いますが、ご縁があれば皆様に訪問先でお会いできるのを楽しみにしています。ご本人様やご家族様、またサービス関係者様との良い関係を築き、在宅生活を支える一助となれるよう努力していきます。



こうざきもみの木便り 第27報

発行日：2022年8月1日
編集・発行：こうざきデイケア・
リハビリテーションセンターもみの木
広報担当：入船・山田
電話番号：097-576-1212
FAX番号：097-576-1182
E-mail：mominoki_reha@yahoo.co.jp

見守る奥様



再び漁に行く



仕掛け作り

佐賀関で漁師をされていた〇様。右膝の変形による痛みが強くなった為、昨年、医療機関で人工関節置換術を行いました。退院後、すぐにもみの木でリハビリを開始しました。ご本人様の「手術して膝が良くなったら、また漁に出たいんや」という強い気持ちがあり、身体機能はどんどん回復していきました。いよいよ船を出してみようと予定を立てた数日前、原因不明の発熱により急遽入院する事に…精査した結果、手術した膝が感染を起こしており、再手術をする事になってしまいました。

短期間で二度の手術をすることになり、さすがに心身ともに落ち込みが見られるのではないかと思われました。しかし、もみの木のテーマである「あきらめない心」でリハビリを再開しました。手術した膝の動きを取り戻す運動をしながら、漁に出た時の実際の動きを想定してバランス練習等にも熱心に取り組みました。

そして、今年の5月、ついに船を出すことになりました。主治医の先生と担当ケアマネージャーも駆けつけ、迫力のあるエンジン音と共に最高の笑顔で出航されました。その後も1人で漁に出て、イサキなどを釣り上げています。

「年取ってから、ゆっくり自分の船で釣りをするのが夢やったんや。生まれ変わってもまた漁師をしたいな。」と話してくれた〇様。夢を叶えて最高の笑顔でした。



いざ！出航！！

漁師

生まれ変わっても



大きなイサキが釣れました！



華麗なステップ



伸び延び体操1周年！！

伸び延び体操を始めて7月で1年が経ちました。始めは椅子座位での運動が主でしたが、その後、平行棒に掴まって立位でのバランス練習を行う様になりました。そして、1年たった現在では、ラダーを使ってステップ運動をしています。難しい動きも笑顔でできるようになりました。ご自宅での自主運動も継続されて、皆さん転倒なく過ごされています。

☆編集後記☆

「再び、漁に出る」との目標を見事達成された〇様。釣り上げた立派なイサキを1匹お裾分けして頂きました。旬の大きなイサキは大変美味ですが、〇様のこれまでの努力を思うと、格別の味がしました。出漁時の動画を製作しました。

ぜひこちらからご覧ください →



『男性になんて負けない！！』 SMFC女性チーム発足★

SMFC（坂ノ市もみの木フィッシングクラブ）新情報！
普段は男性メインの魚釣りですが今回は違います。女性でも、できる事を拡散したく女性限定!!でメンバーが集まりました。「誰かと一緒に楽しめる何か新しい趣味を見つけたい。」と話されていたA様。もともと多趣味な方ですが、コロナ禍で三味線の発表会などの外出機会が減っていたB様。仲のいいご利用者様方が声をかけあって、新チームの発足です。

今回参加されたメンバー全員が魚釣りは初めてであり、釣り具の使い方や投げる動作等全く知らないところからのスタートでした。まずは釣りのイメージを持って頂く為、ご自宅での自主練習として、タオルを使用して大きく振りかぶるバランス練習に取り組んで頂きました。次のステップでは、実際に釣り竿を使用しながら公園で遠投とリールの使い方を覚えながらなんと5カ月・・・。

本番では海に釣り竿を投げる際のリールの使い方や飛ばし方も練習よりも遠くに飛ばせて、しっかり体幹を使ってバランスを崩すことなく行えました！

「あの釣れた感覚は釣った人にしか分からないわ。また行きたい。」と釣りを楽しんで頂けただけでなく、新しい趣味の発見やご自宅での生活の活気にも繋がりました。

今後も色々な趣味を見つけ活気のある生活が続けられるように、ご利用者様と一緒に企画していきたいです！



滾る情熱！



溢れる笑顔！

もみの木で出会った友人と一緒に



A様は今年4月よりもみの木を利用されており、初のお花見外出でB様と意気投合されました。またその際「景色がいいからいい写真が取れそうだな」と話されており、現在は『スマホを利用してご家族様にメールや写真を送る事が出来るようになり、家族間でコミュニケーションを増やす～外出イベントに参加し、もみの木内でも交流を増やす～』との目標で、立位でのスマホ操作の練習を頑張っておられます。一方B様は『ショートステイを利用する中で、ストレスなど上手に発散しながら、体調管理を行っていく』との目標をお持ちです。ストレス発散の一貫としてA様と毎月外出イベントに参加することを提案し、その為の自主運動を行ってもらっています。今後もお二人の友情と、月々の冒険に乞うご期待です★



♪新入職員紹介♪ ヾ(〇ー〇)ノ



介護福祉士
岸本 梨花
(きしもと りんか)



趣味：絵を描く、映画鑑賞、ピースのアクセサリー作り
子供の頃の夢：仮面ライダーV3
好きな食べ物：きゅうり♡
今後の野望：川野部長の座を狙う★



編集後記

今年の夏はとにかく暑い！連日の熱中症警戒アラートの発令に、皆様も十分注意をされていることと思います。熱中症対策にはエアコンの使用や水分・塩分の摂取励行がよく言われますが、普段からの睡眠と栄養も大事です。僕は炭水化物抜き朝バナナダイエットをしていますが、熱中症対策も抜かりはありません！！（釘宮・・・になりすました羽田野）

玉ねぎの収穫とお外で俳句活動 ～気持ちいい～

【大東もみの木～園芸・俳句】

晴れ晴れとした天気の中、今回は玉ねぎ収穫グループと俳句グループ、2つの活動レクを4階屋上で同時開催しました。玉ねぎ収穫では、①皮をむく、②根を切る、③葉を適度な長さに切るの3点を作業分担し、ご利用者様方のチームワークで『あっ』という間に干すことが出来ました。ご利用者様からは、「去年より、今年の方が雨が少なかった分、少し小さかったなあ。」「でも、味は甘かった。」などの声が聞かれました。



俳句では初めて屋外で開催してみた為、発表するご利用者様の声が聞こえにくならないように発表する方にレイを掛けさせていただき、皆さんが耳を傾けやすくなるように工夫してみました。発表後のどういう気持ちで、句を作ったか話している時の楽しそうで恥ずかしそうなご利用者様の表情が、とても印象的でした。又、初めて皆さんの前で詠まれ、拍手をもらい、緊張したけれど、気持ち良かったとの感想を頂きました。

自立したインスリン注射の獲得を目指して

2月末から大東もみの木をご利用のA様、元々、1人暮らしをされていましたが、認知機能低下の心配もあり、入院を機に施設入所をする事になりました。服薬管理も難しく、施設管理となりましたが、インスリンの注射だけは施設対応が難しい為、大東もみの木での対応となりました。

週3回のご利用の内1回は大東もみの木で注射の対応をしていますが、もし、大東もみの木を1週間以上休んだ場合、インスリンを打てなくなってしまう事が課題として挙げられていました。

担当ケアマネや施設と相談をし、施設での見守りは可能と何う事が出来たので、ご本人とも相談をし、「職員見守りで自分で打てる様になる。」と目標を挙げて取り組みを開始しています。

始めのうちは「針を見るのが怖い」「自分で刺すのが怖い」との発言が聞かれましたが、看護師と一緒に練習する事により次第に恐怖心はなくなり、注射を打つ事は見守り（声掛け）で行えるようになりました。

キャップの外し方や細かい部分で声かけが必要な状態がある為、ご本人様が安心して自己注射が出来る様に、今後も目標達成に向けて練習を行っていきたいと思います。



坂ノ市メディカルフィットネスジム **ABIES**

8月よりAコース再開!
15時~16時



坂ノ市メディカルフィットネスジムABIESでは、新型コロナウイルスが流行し、通所リハビリテーション（坂ノ市もみの木）との利用時間を分ける観点から、Aコース（15時台）の受け入れは中止していました。

新型コロナウイルスの影響はまだまだ続いておりますが、「お互いにマスクを装着すること」、通所リハビリテーション（坂ノ市もみの木）との「エレベーターやリハビリ機器の同時時間帯の共有を避けること」、「事業所間でのリハビリ機器の入れ替え時には消毒を行うこと」で、15時台の受け入れを8月より再開致します。

今後もお互いに感染予防に務め、安心して運動が行えるように継続して参りたいと考えております。ご利用のお問い合わせは、坂ノ市メディカルフィットネスジムABIES（釘宮）までお願い致します。



健康運動指導士
釘宮 明

坂ノ市 メディカルフィットネスジム

ABIES

SAKANOICHI MEDICAL FITNESS GYM



※Aコース追加

月・水・金

A : 15時00分~16時00分 B : 16時30分~17時30分 C : 18時00分~19時00分

坂ノ市病院3階

※検温や定期的な換気を行い、運動時はマスクの着用をお願いしています。

お問い合わせ : 080-2792-2221

(健康運動指導士 釘宮)

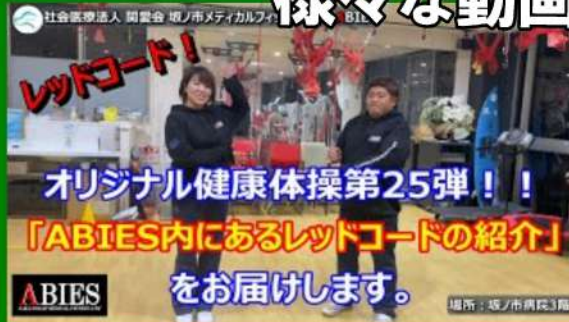
YouTube

もみの木活き生きチャンネル

様々な動画を配信しています!



チャンネル登録お待ちしております!



もみの木 オフィシャルブログ「もみの木」の木の下で

★もみの木や訪問リハビリでの出来事を情報発信中!

アドレス : http://livedoor.jp/mominoki_reha/



QRコード

もみの木 リハビリ 検索